

二地域居住把握システムに関する論点

1. 情報バンク構想（19年度予算）

（仕組み）

二地域居住者が二地域居住地域との関係を示す書類を添付し、「ふるさとサポーター」認定を申請

審査により申請地域との「ふるさとサポーター認定証」を交付

認定証を利用して、移動費等の制約を軽減

二地域居住者が滞在期間、活動内容等について「情報バンク」に報告

「情報バンク」のデータを各府省、地方公共団体に公開

（見込まれる効果）

- ・ 二地域居住の実態についての情報を把握することにより、各府省・地方公共団体の二地域居住促進策の検討に寄与
- ・ 二地域居住等を実施する際の移動費等の制約の軽減

2. 検討課題

情報バンクの実務上の課題

- ・ 「二地域居住」の確認の方法
- ・ 移動費の軽減等を実現する仕組み

二地域居住者の認定に関して

（認定基準）滞在期間、実質的基準（地域の求める人材など）等

（認定様態）全国一律、地域のニーズに応じて等

（認定主体）国、地方公共団体、その他の団体（NPOなど）等

ターゲット

（対象者）団塊世代、勤労世代等

（対象地域）限定の有無（eg. 自立的に観光業等が発展している地域を除く）等

情報バンクに登録すべき情報

- ・ 年齢階層、二地域居住地、滞在時間、活動内容等

他の府省庁の施策との整合性

- ・ 人の誘致・移動の促進のための他の施策との連携

第3 計画のねらいと戦略的取組

（2）持続可能な地域の形成

地域への人の誘致・移動、地域間の交流・連携の促進

地域づくりに当たっては、これを支える人材の蓄積が必要である。その際、「定住人口」については、全体としてかなりの数の減少が見込まれることから、都市住民が農山漁村等にも同時に生活拠点を持つ「二地域居住人口」、観光旅行者等の「交流人口」、インターネット住民等の「情報交流人口」といった多様な人口の視点をもって地域社会を捉え、地域に対し関心を持ち、愛着を感じる人を増やし、多様な形で人の誘致・移動の促進による人材の蓄積を図るべきである。とりわけ、「二地域居住」については、都市地域の居住者の願望が高く、現在退職期を迎えている団塊の世代を中心に大きな動きになることが期待されることから、その促進を図る必要がある。

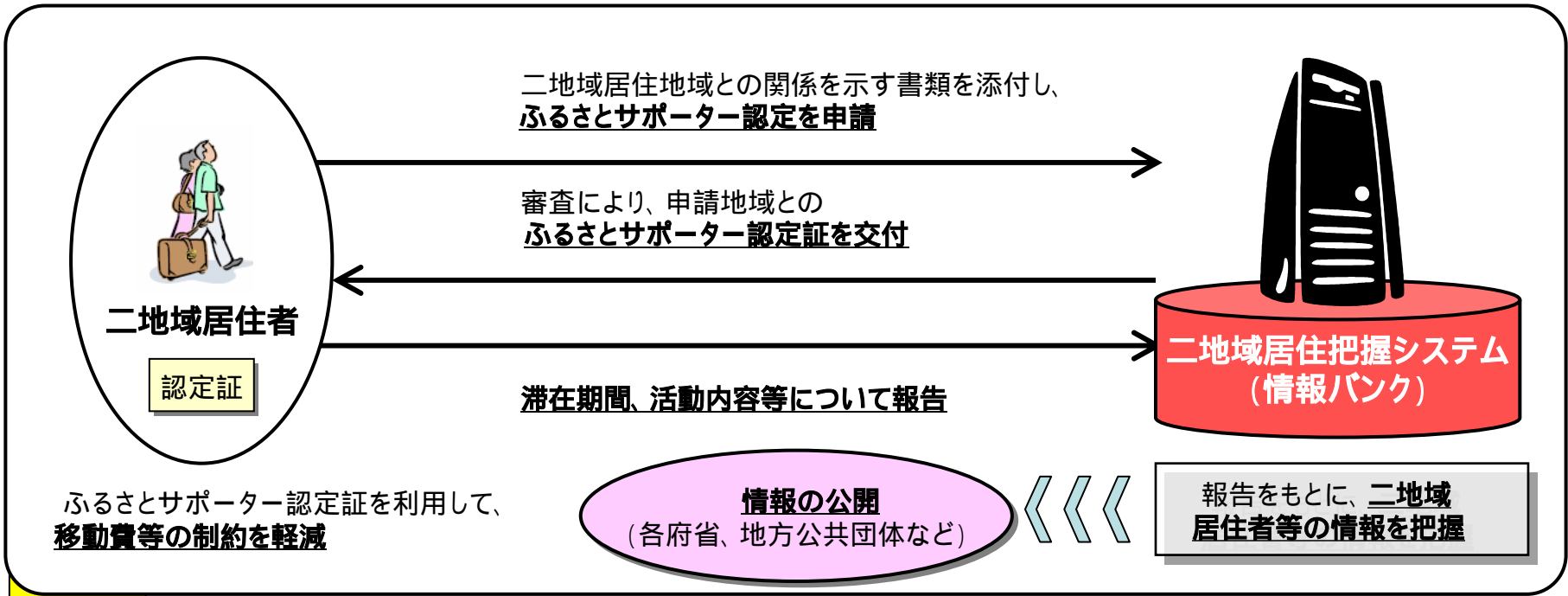
このため、国土計画の下で、地域への人の誘致・移動を促進するための施策がまとまりを持って展開される必要がある。例えば、人の誘致・移動の促進のためには、人・地域双方のニーズや地域の様々な情報が適切に提供されることが必要であることから、観光などの交流、二地域居住、定住まで一貫したシステムとして、観光、交通手段・宿泊、居住を含む地域での生活、専門的人材、就業・多様な活動（多業・多芸）等についての仲介機能を有する総合的な情報プラットフォームを整備する必要がある。また、人の誘致・移動を容易にするため、充実した休暇制度の促進、二地域居住等を実施する際の移動費の軽減策等について検討する必要がある。二地域居住等を行う者のための住居と居住環境の確保も重要な課題であり、地域の空き家の流動化と活用のための仕組みの検討、都市から地方への住み替え支援制度を活用した地域での住宅資金の確保等を図ることが必要である。（後略）

二地域居住把握システム(仮称)構想

現在の課題

「中長期滞在型観光」から「二地域居住」までの人口等を把握することが困難
「二地域居住」等を実施する際の高い移動費がその促進を阻害

「二地域居住把握システム(情報バンク)」(仮称)設立



効果

「中長期滞在型観光」から「二地域居住」までの人口等を把握し、
各府省・地方公共団体の施策の検討に寄与 都市と農山漁村の交流を促進
「二地域居住」等を実施する際の移動費等の制約が軽減され、「二地域居住」が促進

二地域居住実践者アンケート調査

【調査の概要】

対象者：国内在住の40歳から72歳で都市部と農山漁村部などの両方に住居(持ち家に限らない)を持ち、その間を定期的に行き来している男女

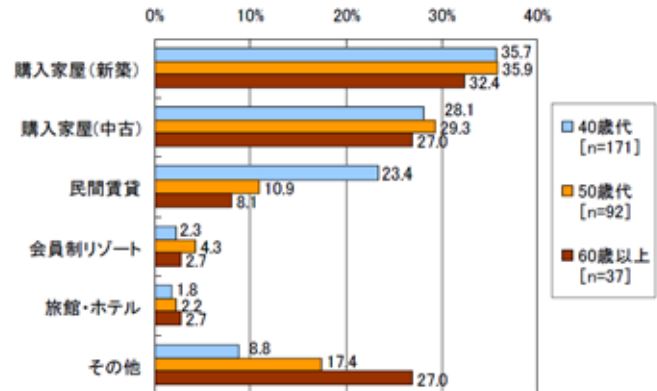
有効回答：300人(楽天リサーチ登録モニター)

【二地域居住実践者の世帯年収】



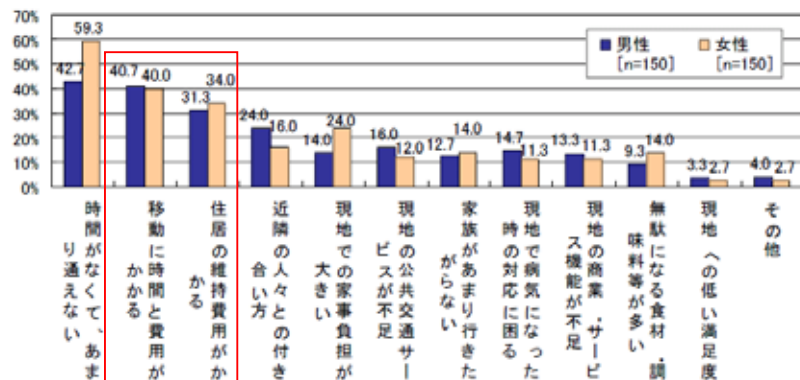
二地域居住は、高所得者層が多いように思われるが、世帯収入が700万円未満が半数以上をしめる

【第二居住地の住居形態：年齢別】



実践者のうち60%を超える方が「購入家屋(新築・中古)」の形態を取っており、一方40歳代は、23.4%が「民間賃貸」の形態である。

【二地域居住に関する問題点：男女による意識差】



「時間がない、あまり通えない」など時間面も問題意識が高く、また「移動に時間と費用がかかる」、「住居の維持費用がかかる」など費用面の問題意識も高くなっている。

【二地域居住に関する問題点：年齢による意識差】

